

日本林業

発行：一般社団法人 日本林業協会
〒 112-0004
東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル3階
TEL. 03-6801-8931 FAX. 03-6801-8932
編集・発行人 島田 泰助

シンポジウム「企業による森林との関わり方と可能性」において貴重な提案、アイデアが続出

協会からの

情報提供は

- 一般向け情報誌
『森林と林業』
毎月25日発行
 - 会員向け情報誌
『協会報日本林業』
毎月5日発行
- いずれも土日祭日は
繰り下げ発行となります。

森林（もり）づくり全国推進会議と林野庁の共催による『企業による森林との関わり方と可能性～森林づくりを通じた脱炭素社会の実現へ～』と題した3部構成のイベントが、10月4日（水）に、東京新木場の「木材会館」7階大ホールにおいて開催されました。

第1部は、『森林×脱炭素チャレンジ2023』で栄誉ある賞を受けられた企業・団体の方々への表彰状の授与式です。

グランプリの受賞者には鈴木憲和（すずき のりかず）農林水産副大臣から、優秀賞の受賞者には青山豊久（あおやま とよひさ）林野庁長官から授与が行われました。



第1部 授賞式の様子

第2部は『第2回森林づくり全国推進会議』です。会員である「（株）竹中工務店の木造・木質建築推進本部長の石川修次（いしかわ しゅうじ）氏及び鳥取県日南町の自立改革推進本部主幹の荒金太郎（あらがね たろう）氏からの取組状況のご報告がなされた後、櫻田謙悟（さくらだ けんご）会長からまとめが行われました。

そして第3部のシンポジウムでは、モデレーターの（株）農林中金総合研究所の皆川芳嗣（みながわ よしつぐ）理事長の軽快な司会で始まり、パネラーの（株）明和不動産取締役会長の川口雄一郎（かわぐち ゆういちろう）氏、（株）NTTドコモ経営企画部サステナビリティ推進室長の武田有紀（たけだ ゆうき）氏、（株）ロイヤリティマーケティング新規事業開発部長の佐藤智仁（さとう ともひと）氏からのプレゼンテーションが行われた後、第2部で報告を行った石川本部長及び荒金主幹も加わってのセッションに移りました。

パネラーはそれぞれの立場や業態が異なり、「森林づくり」への取組の趣旨や位置付け、目的も異なることから、それぞれの発言に対する質問や意見が相互に交わされるとともに、随所での長崎屋林野庁森林整備部長のコメントも交えながら、皆川モデレーターの円滑な進行により限られた時間でしたが中身の濃い、また、森林・林業・木材

目次:

シンポジウム 「企業による森林との関わり方と可能性」開催	1 ・ 2
環境基本法見直しに関するヒアリング で島田会長が説明	2 ・ 3
自民党合同会議で島田会長が令和6年度税制改正要望について説明	3
国会・業界 行事日程(10月)	4



第3部 パネルディスカッションの様子

産業に関係する者の視点からは中々生まれにくいような斬新な発想や行動力・実績に関する意見やアイデアなどが多々出され、会場参加された方々も興味津々といった雰囲気で大いに盛り上がったシンポジウムとなりました。

(森林づくり全国推進会議の会員に録画配信しています。入会、配信を希望される方は下記までお問合せください。)

森林づくり全国推進会議運営事務局
Email: entry@green.or.jp

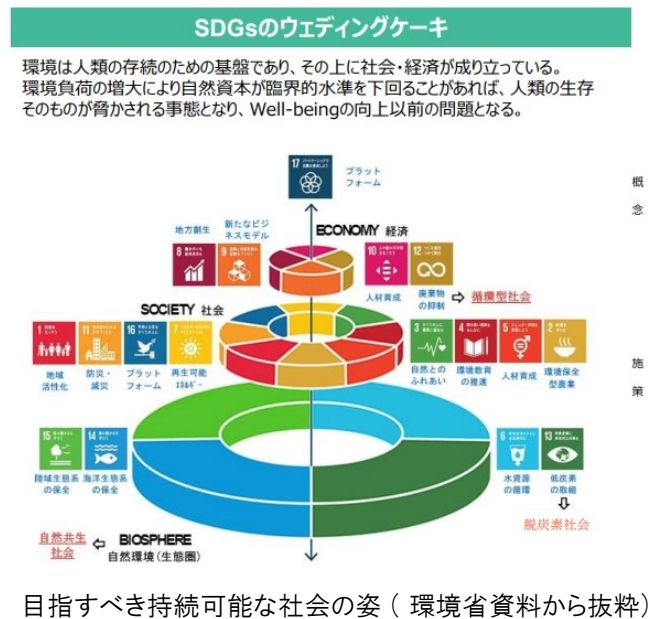
環境基本計画見直しに関するヒアリングで島田会長が説明委員からの質疑応答が森林・林業に集中

10月30日(月)の午後、環境省第1会議室で行われた『中央環境審議会総合政策部会と各種団体との意見交換会』において、森林・林業分野を代表して、(一社)日本林業協会の島田泰助(しまだ たいすけ)会長がプレゼンテーションを行いました。出席した4団体が続けて説明した後、意見交換に入りましたが、島田会長に対しては出席委員のほとんどから質問や意見があり、予定の時間では対応しきれないような状況でした。ヒアリング後も島田会長に質問される委員が多くおられ、森林・林業への関心や期待の高さがうかがわれました。

委員からの質問の主なものは以下のとおりです。「カーボンクレジットと木材利用の関係。」、「再造林を進めるためのインセンティブは何か?」、「過度の外材輸入が再造林の進まない原因では?」、「外材の合法性が問題では?」、「里山と奥山の対策は分けて考えるべきでは?」、「広葉樹の育成対策が必要。」、「現場作業の雇用形態が前近代的と聞く。産業政策が不可欠。」、「再造林が進まないと吸収源の問題になる。また、生物多様性を保全する機能上も問題。」、「森林認証との関わり方のアイデアは?」、「森林は極めて重要。制度的に何を変えれば良いか? カーボンプライシングが創設されれば良いのか?」、「林業以外の森林の活用も重要。」、「今が伐り時だが、材価が問題か? 真庭市や西栗倉村、浜松市のような成功事例があるが全国には広がらないのか?」など。

島田会長からは、最初に「これだけ多くのご意見やご質問をいただき、皆さんが森林や林業に高い関心を持ってくださっていることを実感。」、「また、林業の問題が根深いことの証左でもある。」と前置きし、以下のように回答しました。

「林業の作業現場が大きく変わってきている。国産材資源が成熟し、林業の機械化等も相当に進んできている。」、「労災は相変わらず多い。」、「木材の自給率も18% 台だった状況から今では40%を超える迄に回復しており、国産材の供給ルートを確保しようという機運が高まっている。」、「森林・林業基本計画におい



て、広葉樹育成の観点から、1000万haの人工林の見直しもすでに公表されている。」「ウッドショックにより、外材も今までのようには買えないという意識の変化が生まれている。」「カーボンプライシングは有り難いが、業界として国産材の供給システムや山元立木価格の引上げに取組みたい。」「人工林として活用し続ける山と多様性を活かす山を分けて考えるべき。」「森林認証制度でなくても適切に再造林されていく仕組みが必要である。」「再造林を罰則等で実行させるという考えもあろうが、産業として自立すべきであり、山の価値について、主張すべきことを山側が主張する仕掛けを考えたい。」「委員の皆さんには、是非“持続的でない木材は使わない”という国民意識が大きな流れになるよう、環境基本計画の見直しの中に盛り込んでいただければ有り難い。」と締めくくりました。

3. 森林の有する多面的機能の発揮に向けて

一般社団法人日本林業協会
JAPAN FORESTRY ASSOCIATION

① 適切な森林の整備・保全

▶ 広葉樹林化、長伐期化、針広混交林化等による多様な森林づくりの推進や、伐採後の確実な再造林を実施。



▶ 森林生態系の保全及び復元、希少な森林生態系の保護管理を実施。また、公益的機能の発揮が特に期待される森林を保安林として指定し、適切な管理を実施。

▶ 森林所有者等による森林の経営や管理が適切に進むよう取り組むとともに、森林所有者が自ら経営や管理ができない森林は、市町村が主体となった経営や管理を実施。

② 持続可能な木材利用

▶ 林業・木材産業の低コスト化や中高層建築物等における木材利用、新素材の開発等により、国内の森林資源の持続的な有効活用を図る。



▶ 合法的に伐採されたことが確認できた木材・木材製品を消費者・実需者が選択できるよう、クリーンウッド法に基づく制度の普及を実施。

▶ 消費者等の理解を醸成し、木材を持続的な形で利用する企業等への ESG 投資にもつながるよう、「木づかい運動」や「木育」等を推進。

森林の有する多面的機能の発揮に向けて(ヒアリング時の配布資料から抜粋)

令和6年度税制改正要望について 自民党合同会議で島田会長が説明

去る11月1日(水)14:30から開催された自由民主党総合農林政策調査会、農林部会、農林水産関係団体委員会、農政推進協議会合同会議において、林業関係団体を代表して、当会の島田会長が令和6年度の税制改正要望についての説明を行いました。

出席された議員からは、要望事項の中の筆頭に掲げている『森林整備を一層推進するための森林環境譲与税の譲与基準の見直し』に関して、「森林面積の配分割合を大きくするよう我々もがんばっていこう」、「年末に向け、団体と一体となって要望事項をしっかりと形にしていこう」、との心強い発言がなされ、年末の最終決着に向けての力強い激励をいただきました。

なお、前日の10月31日(火)16:15からは公明党林業振興議員懇話会によるヒアリングが行われ、島田会長が令和6年度予算概算要求及び税制改正要望について説明を行った後、活発な質疑応答がなされました。

各団体からの出席者は以下のとおりです。

日本林業協会 島田泰助 肥後賢輔
全国森林組合連合会 富山洋 飯塚淳
全国木材組合連合会 本郷浩二

日本林業経営者協会 池田直弥
日本木材市場連盟 柱本修
全国素材生産業協同組合連合会 小山富美男
日本造林協会 赤木利行



自民党合同会議で要望事項について説明する
日本林業協会の島田会長

令和 5年 10月 国会の動き

《国会関連》

- 23日（月）衆・参本会議
総理所信表明演説
- 24日（火）衆本会議 代表質問
- 25日（水）衆・参本会議 代表質問
- 26日（木）参本会議 代表質問
- 27日（金）衆予算委員会 基本的質疑
- 30日（月）衆予算委員会 基本的質疑
- 31日（火）参予算委員会 総括質疑

《政党関連》

- 6日（金）自・政調、総合農林政策調査会・
農林部会合同会議 「総合経済対策（農
林関係）（案）について」
- 18日（水）公・政調、サーキュラーエコノ
ミー・循環型社会推進会議 「粗大ごみ
のリユースについて ほか」
- 19日（木）公・政調、外国人材の受入れ対策
本部 「有識者会議の開催状況につい
て」
- 20日（金）自・政調、外国人労働者等特別委
員会 「有識者会議の開催状況につい
て」
- 24日（火）自・政調、政調全体会議
- 24日（火）公・政調、政調全体会議
- 25日（水）自・政調、総合農林政策調査会・
農林部会合同会議 「令和5年度補正予
算重点事項（案）について」
- 26日（木）公・農林水産部会 「税制改正・
政策要望等について」
- 27日（金）公・農林水産部会 「令和5年度
補正予算重点事項（案）について」
- 30日（月）自・政調、外国人労働者等特別委
員会 「有識者会議の開催状況につい
て」
- 31日（火）公・政調、政調全体会議

令和 5年 10月 業界の動き

- 4日（水）林野庁が「高精度な森林資源情報等
の公開について」を公表
- 11日（水）政府が花粉症対策に係る「初期集中
対応パッケージ」を決定
- 11日（水）第62回農林水産祭において谷口淳一
氏（北海道北斗市）が天皇杯（最優秀賞）を
受賞（表彰式は11月23日（木）明治神宮会館
にて開催）
- 13日（金）林野庁が新たな「全国森林計画」を
決定
- 13日（金）林野庁が「森林資源の現況」を公表
- 16日（月）森林総合研究所が研究成果「ドン
グリの実りに多様な資源利用戦略、豊凶の予
測に期待」を公表
- 26日（木）林野庁が森ハブ・プラットフォーム
キックオフイベント「林業×異分野 マッチ
ングミーティング」を11月29日に開催すると
発表
- 30日（月）森林総合研究所がシンポジウム
「森林が主導するネイチャーポジティブ～生
物多様性の研究と実践の最前線～」を10月31
日及び12月6日に開催すると発表